

コープ災害ボランティアネットワークニュース

第52号

2012年1月発行
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
03-3383-7800

第2回『小平市と合同・防災まち歩き体験』

第2回コープ災害ボランティア養成講座は地域プログラムで、市の取り組みと連携で行いました。減災・防災の視点で小平市周辺の“まち”を歩きました。全く知らない町を地域の方と一緒に災害時を想像しながら、役立つ物や場所を確認するとともに、ところどころでクイズを出し、みんなで考えあいながら歩きました。地域の人と一緒に歩くことによってさまざまな気づきが生まれました。



講師を務める東京災害ボランティアネットワークの福田さん

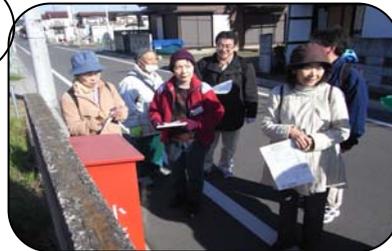
災害時の目線で見て気づき大切に考えましょう。少しでも亡くなる命を無くしていくためにも自分たちの町は自分たちで守ることが大切です。



防災まち歩き



消火栓・防火水槽などを探したり、感じたことや疑問などを出し合いながらまち歩きをしました。



災害時フリーで飲料提供する自動販売機

防災のまち歩き体験

<目的>

- まちを「防災・減災」の視点で見て、「災害時のまち」をイメージする。
- 役割や個性の違う多くの人とまちを見て、仲間（コミュニティ）をつくる。

<効果>

- 防災・減災資源、危険箇所を確認でき、まちの災害時の強みと弱点が見える。
- まちの特徴がわかり、多くの人と仲良くなり、「自分たちは自分で守る」意識が生まれる。

<まちを見るポイント>

- 消火栓や防火水槽などの防災資源を探そう。
- 消防車・救急車が入れるか、電線・電柱は多くないか道路を見てみよう。
- その他災害時に役立つものを探してみよう。
- 気づいたことを地図にメモしておく。



自動でホースを干しています



訓練を終えた消防分団の方からお話を聞くことが出来ました。

地震がおきて最初に避難するところは？クイズを考えながら説明を受けました。

答えは『いつとき避難場所』学校、近くの公園、グラウンドなどが多い



学校にある貯水槽は日常的に学校で使っています。『いざ』というときには手前の蛇口から水が出ます。



防災倉庫の中には食料は入っていません。だれが鍵を持っているの？など質問が多く出されました。



～まち歩きを終えて～

- ・防災の視線で初めてまち歩きをし、どのように設置されているかを知ることが出来ました。
- ・改めて自分の住んでいるまちを見てみたいと思いました。
- ・小平という初めてのまちを地元の人たちと歩くのは新鮮でした。我が家の近くも視点を持って歩きたいと思いました。
- ・最強のライフラインは人とのネットワーク。壊れることの無いネットワークを地域で作ることが大切というお話を聞いて自分のまちでも実行しなければと思いました。

第3回 被災シミュレーション & 災害ボランティアシミュレーション

第3回ボランティア養成講座プログラムは被災直後から避難所までの行動をシミュレーションしました。どんな行動をとるか具体的に考えることが出来ました。また災害ボランティアシミュレーションではボランティアと被災者との会話をみんなで考えました。被災者と向き合ったとき、沈黙や間が怖くなってしまいうけれど、こちらからあえて聞き出すことはしない。寄り添うことの大切さを学びました。



被災シミュレーション どう行動する!?

グラッときたら そのときあなたは?

揺れが収まるまで自分の身を守る・頭を守る・ドアを開ける・外へ出るなど
揺れが収まったら次の行動は?

確認する→何を?どのように?なるべく**具体的に**

～大災害時はみんなでまちを守ろう～

- 自分のいのちは、なるべく自分で守ろう
- 自分たちのまちは、必ず自分たちで守ろう



身近ですぐに避難できない人がいるのを知っていますか?

例えば「隣に足の不自由なおばあちゃんいる」など具体的にわかりますか?
被災直後は近所の人々が助けてくれる可能性が高い(60%強)

初期消火が大切。助け合って火を消す! 地域に入り込んで助ける

救助が終わって、消火が終わったら・・・次の行動は?

- ・逃げる! →どこに?どうやって?
- ・家族や仲間に連絡をする! →どうやって連絡する?
- ・家に戻る! →家の中はどうなっていますか?



*災害時と自分の行動をイメージして
考えてみてください!

電話も通じません! 電車も動きません!
電気もつきません! ガスもつきません!

家族と 顔をあわせるのはいつ?

家族で話し合みましょう!
何が不安?何が困る?
優先順位を考えましょう



災害ボランティアシミュレーション どんな声かけをしますか?

～シチュエーション～

『被災3日目避難所の入り口近くに横になっているおばあさんにどう声かけをしますか?』
この状況での声かけをみんなで考えました。

寝れてますか?
ご飯食べられましたか?なんて聞いたらいいい?



難しいですね～
体をいたわる声かけかな?



まず自己紹介ですね。

足元冷えませんか?など気遣いが大事じゃない?



色々出ましたが
寄り添うこと、傍にすることが大切なのは。

～講師福田さんのコメント～

むやみやたらに聞き出すことはしない。話をしないと間が怖くなるが、間を怖がらない。**沈黙は必要です。沈黙を恐れない。**相手が話をしながらないときはこちらから聞かない。傍にいてだけで**人に気持ちを寄せること、寄り添うこと。**心配する気持ちが大切です。なにか話すときには**真剣に考えた“ことば”は必ず通じます。**